



## シャーシの取り付け

---

- [安全性 \(1 ページ\)](#)
- [ラックマウント キットの設置オプション \(5 ページ\)](#)
- [エアフローに関する考慮事項 \(5 ページ\)](#)
- [設置に関するガイドライン \(6 ページ\)](#)
- [スイッチの開梱および確認 \(7 ページ\)](#)
- [工具と部品の調達 \(8 ページ\)](#)
- [シャーシへのラックの取り付け方法の計画 \(8 ページ\)](#)
- [NXK-ACC-KIT-1RU ラックマウント キットを使用しているスイッチのインストール \(9 ページ\)](#)
- [NXK-ACC-KIT2-2RU ラックマウント キットを使用したスイッチの設置 \(13 ページ\)](#)
- [シャーシのアース接続 \(19 ページ\)](#)
- [スイッチの起動 \(21 ページ\)](#)

## 安全性

スイッチの設置、操作、または保守を行う前に、『*Regulatory, Compliance, and Safety Information for the Cisco Nexus 9000 Series*』を参照し、安全に関する重要な情報を確認してください。



---

### 警告 ステートメント 1071 - 警告の定義

#### 安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

---



---

**警告** ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

---



---

**警告** ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

---



---

**(注)** ステートメント 407：日本語での安全上の注意

製品を使用する前に、安全上の注意事項を読むことを強くお勧めします。

<https://www.cisco.com/web/JP/techdoc/pldoc/pldoc.html>

製品を設置するときには、付属のまたは指定された接続ケーブル、電源コード、およびACアダプタを使用してください。

<製品の使用に関する安全上の注意>

[www.cisco.com/web/JP/techdoc/index.html](http://www.cisco.com/web/JP/techdoc/index.html)

接続ケーブル、電源コードセット、ACアダプタ、バッテリーなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となります。また、電源コードセットは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

---



---

**警告** ステートメント 1017：立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

---



警告

**ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

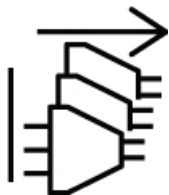
内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告

**ステートメント 1028—複数の電源**

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



警告

**ステートメント 1003—電源の切断**

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、電源を切断してください。



警告

**ステートメント 1046：装置の設置または交換**

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



警告

**ステートメント 1022—デバイスの切断**

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



**警告** ステートメント 1024 : アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



**警告** ステートメント 1032 : シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。



**警告** ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。



**注意** 入力電力の損失を防ぐには、スイッチに電力を供給する回路上の合計最大負荷が、配線とブレーカーの定格電流の範囲内となるようにしてください。



(注) AC 入力の用途の場合、以下のステートメントを参照してください。



**警告** ステートメント 1005 - 遮断器

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護デバイスの定格電流が 20A（北米）、16A（ヨーロッパ）、および 13A（英国）を超えていないことを確認します。

**警告 ステートメント 1056 - 未終端の光ファイバ ケーブル**

未終端の光ファイバの末端またはコネクタから、目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。光学機器で直接見ないでください。ある種の光学機器（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）を使用し、100 mm 以内の距離でレーザー出力を見ると、目を傷めるおそれがあります。

**警告 ステートメント 1255 - レーザーのコンプライアンスに関する考慮事項**

着脱可能な光モジュールは、IEC 60825-1 Ed に準拠しています。IEC 60825-1 Ed への準拠に関する例外の有無にかかわらず、3 および 21 CFR 1040.10 および 1040.11。3 は 2019 年 5 月 8 日付の Laser Notice No. 56 の記載のとおりです。

## ラックマウント キットの設置オプション

ラックマウント キットを使用すると、スイッチをさまざまな深さのラックに設置できます。ポート接続端またはファンおよび電源モジュールのいずれかに容易にアクセスできるようにスイッチを配置します。

次のラックマウント オプションを使用して、スイッチを設置します。

- ・シスコから注文可能なラックマウントキット（NXK-ACC-KIT-IRU）。このオプションを使用すると、設置の簡略化、安定性の向上、収容可能な重量の増加、アクセス性の向上、前後の取り外しによる可動性の向上がもたらされます。

使用するラックまたはキャビネットは、セクション [キャビネットおよびラックの一般的な要件](#) に記載されている要件を満たす必要があります。



(注) お客様には、このマニュアルで説明されているガイドラインに準拠したラックおよびラックマウント ハードウェアを確認する責任があります。

## エアフローに関する考慮事項

スイッチには、スイッチを冷却するためのポート側吸気エアフローまたはポート側排気エアフローのどちらかが備わったファンと電源モジュールが付属しています。スイッチのポート端をコールドアイルに配置する場合は、赤紫色のカラーリングが付いたポート側吸気ファンモジュールがスイッチに搭載されていることを検証します。ファンと電源モジュールをコールドアイルに配置する場合は、青色のカラーリングが付いたポート側排気ファンモジュールがス

スイッチに搭載されていることを検証します。すべてのファンモジュールは同じ方向のエアフローが必要です。



(注) ポート側排気ファンは、将来のリリースで利用可能になる予定です。

## 設置に関するガイドライン

スイッチを設置するときは、次のガイドラインに従ってください。

- スwitchの周囲に、保守作業および十分な通気を行えるスペースがあることを確認します。
- コールドアイルから冷気を吸気し、ホットアイルへ排気を行うように、スイッチがラックに配置されていることを確認します。ファンモジュールに青色のカラーリングがある場合、スイッチはポート側排気エアフロー用に設定されるため、スイッチのモジュール側をコールドアイルに配置する必要があります。ファンモジュールに赤紫色のカラーリングがある場合、スイッチはポート側吸気エアフロー用に設定されるため、スイッチのポート側をコールドアイルに配置する必要があります。
- シャーシが適切にアースできることを確認してください。スイッチを設置するラックがアースされていない場合は、シャーシのシステムアースを直接アースに接続することを推奨します。
- 設置場所の電源が、スイッチの電源要件に適合していることを確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置（UPS）を使用してください。



**注意** 鉄共振テクノロジーを使用するUPSタイプは使用しないでください。このタイプのUPSは、スイッチに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になることがあります。

- 回路の容量が、各国および地域の規格に準拠していることを確認します。通常、確認するには次のいずれかまたは両方が必要になります。
  - AC電源には通常、少なくとも15 Aまたは20 Aの100 ~ 240 VAC交流電源（周波数50 ~ 60 Hz）が必要です。



**注意** 入力電力の損失を防ぐには、スイッチに電力を供給する回路上の合計最大負荷が、配線とブレーカーの定格電流の範囲内となるようにしてください。



(注) AC 入力の場合、以下のステートメントを参照してください。



**警告** ステートメント 1005 - 遮断器

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護デバイスの定格電流が 20A（北米）、16A（ヨーロッパ）、および 13A（英国）を超えていないことを確認します。



(注) 現在、DC 電源はサポートされていません。DC および HVDC 電源は、将来のリリースでサポートされる予定です。

## スイッチの開梱および確認

スイッチを設置する前に、スイッチを開梱して損傷や欠落したコンポーネントがないか確認します。不足や損傷がある場合は、カスタマーサービス担当者にすぐに問い合わせてください。



**ヒント** シャーシの輸送が必要となる場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。

### 始める前に

スイッチを開梱しスイッチのコンポーネントを取り扱う前に、必ず接地済み静電放電（ESD）ストラップを着用してください。ストラップを接地するには、アースまたは接地済みラックや設置済みシャーシに直接接続します（アースには金属間接続をする必要があります）。

### 手順

**ステップ 1** カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと、梱包品の内容を照合します。次の品目を含め、すべての品目が揃っていることを確認してください。

- アクセサリー キット

**ステップ 2** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。

- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照してください）
- 破損している装置のモデルとシリアル番号
- 破損状態の説明
- 破損による設置への影響

## 工具と部品の調達

シャーシを取り付けるための次の工具および機器を用意します。

- シャーシをラックマウントするトルク能力がある #1 および #2 プラス ネジ用ドライバ
- 3/16 インチのマイナス ドライバ
- 巻き尺および水準器
- 静電気防止用リスト ストラップなどの静電気防止用器具
- 静電気防止用マットまたは静電気防止材
- ラグ用圧着工具
- ワイヤ ストリッパ
- ブラケットを固定するための M4 ネジ（16）
- 接地ラグを固定するための M4 ネジ（2）

## シャーシへのラックの取り付け方法の計画

スイッチは、ポート側の吸気流という一方向に冷却空気がスイッチを通過するように設計されています。

- ポート側から入って電源モジュール側から抜ける（ポート側吸気エアフロー）

ポート側排気エアフローの場合、スイッチには、これらのカラーリングが 1 つ以上付いたポート側排気ファンおよび AC 電源モジュールが必要です。

- ファン モジュールおよび AC 電源モジュールの青色のカラーリング

スイッチのポートが接続先のデバイスのポートの近くに配置されるように、または、ファンと電源モジュールが都合よくメンテナンスアイル内に配置されるように、スイッチの配置を計画します。冷却空気をコールドアイルからホットアイルに適切な方向に移動させるモジュールを注文します。





- (注) 同じスイッチのすべてのファンと電源ユニットは、同じ方向のエアフローで動作する必要があります。スイッチの空気取り入れ口は、コールドアイルに配置する必要があります。

## NXK-ACC-KIT-1RU ラックマウントキットを使用している スイッチのインストール

スイッチを取り付けるには、前面および背面取り付けブラケットをスイッチに取り付け、スライダレールをラックの背面に取り付け、スイッチをスライダレール上でスライドさせ、スイッチをラックの前面に固定します。通常は、ラックの前面が側面になるようにすると簡単に保守を行えます。



- (注) スライダレールとスイッチをラックに取り付けるために必要となる 8 本の 10-32 または 12-24 ネジを用意します。

### 始める前に

- 検査したスイッチの出荷に注文したすべての部品が揃っているかを確認します。
- スwitchのラックマウントキットに次の部品が含まれていることを確認してください。
  - 前面ラックマウントブラケット (2)
  - 背面ラックマウントブラケット (2)
  - スライダレール (2)
  - M4 x 0.7 x 8 mm のさらネジ (10-12)
- ラックを所定の場所に取り付けて固定します。

### 手順

**ステップ 1** 次のように、2つの前面ラックマウントブラケットと2つの背面ラックマウントブラケットをスイッチに取り付けます。

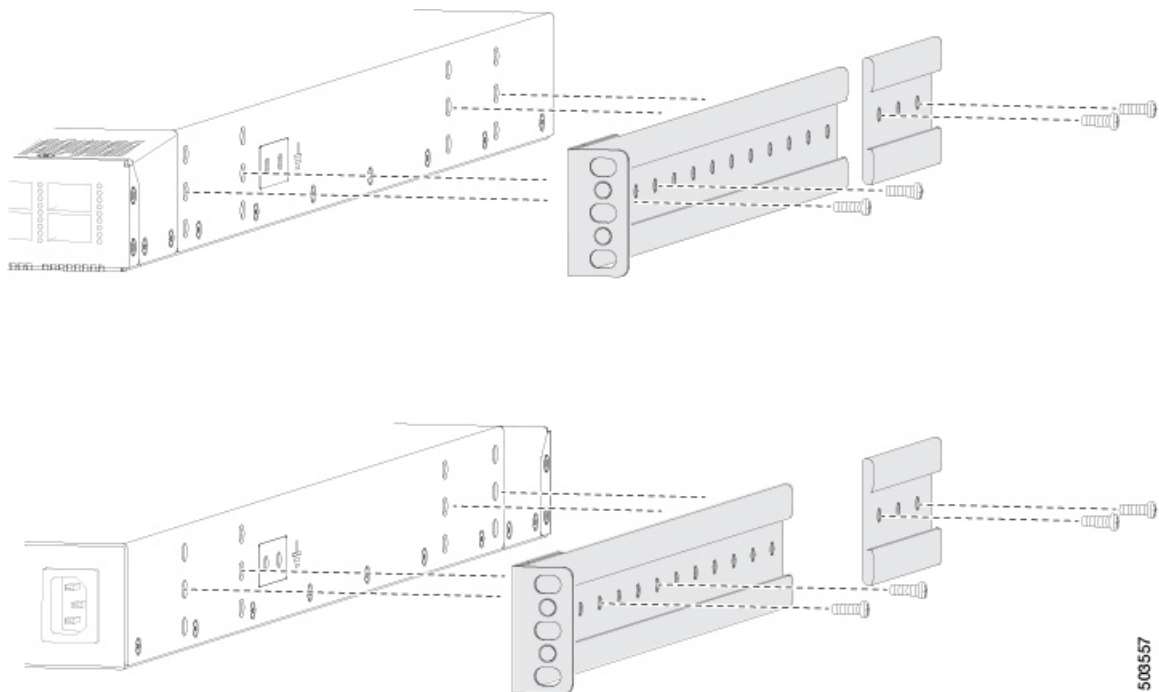
- a) シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。
- スwitchにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュール）がある場合は、ポートがコールドアイル側になるようにスイッチを配置します。

- スイッチにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファン モジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側になるようにスイッチを配置します。

- b) 前面と背面のラックマウント ブラケットのネジ穴がシャーシ側面のネジ穴に合うようにブラケットを配置します。

（注）

ラックマウント ブラケットのネジ穴を、シャーシ側面のネジ穴に合わせることができます（代表的なシャーシでのこれらのブラケットの 2 通りの取り付け方法は図を参照）。使用する穴は、ラックの要件およびインターフェイス ケーブル（最小 3 インチ（7.6 mm））およびモジュール ハンドル（最小 1 インチ（2.5 mm））に必要な隙間の量によって異なります。



- c) 4 本の M4 ネジを使用して前面マウント ブラケットと背面マウント ブラケットをシャーシに固定します。12 インチポンド（1.36 N・m）のトルクでそれぞれのネジを締めます。
- d) ステップ 1 を繰り返し、スイッチの反対側にもう一方の前面ラックマウント ブラケットと背面ラックマウント ブラケットを取り付けます。ブラケットをスイッチの前面から同じ距離に配置します。

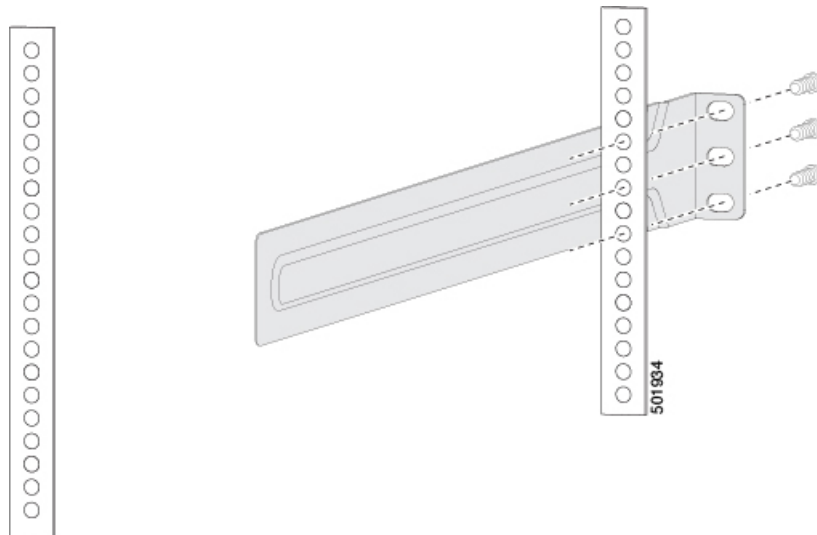
（注）

シャーシの奥行によっては、背面ラックマウント ブラケットが合わない場合があります。この場合、背面ラックマウント ブラケットは必要ありません。

**ステップ 2** アース接地ラックにシャーシを設置していない場合、[シャーシのアース接続（19 ページ）](#) セクションで説明されているように、お客様が用意したアース線をシャーシに接続する必要があります。アースされたラックにシャーシを接地する場合は、このステップは省略できます。

**ステップ 3** スライダー レールをラックまたはキャビネットに次のように設置します。

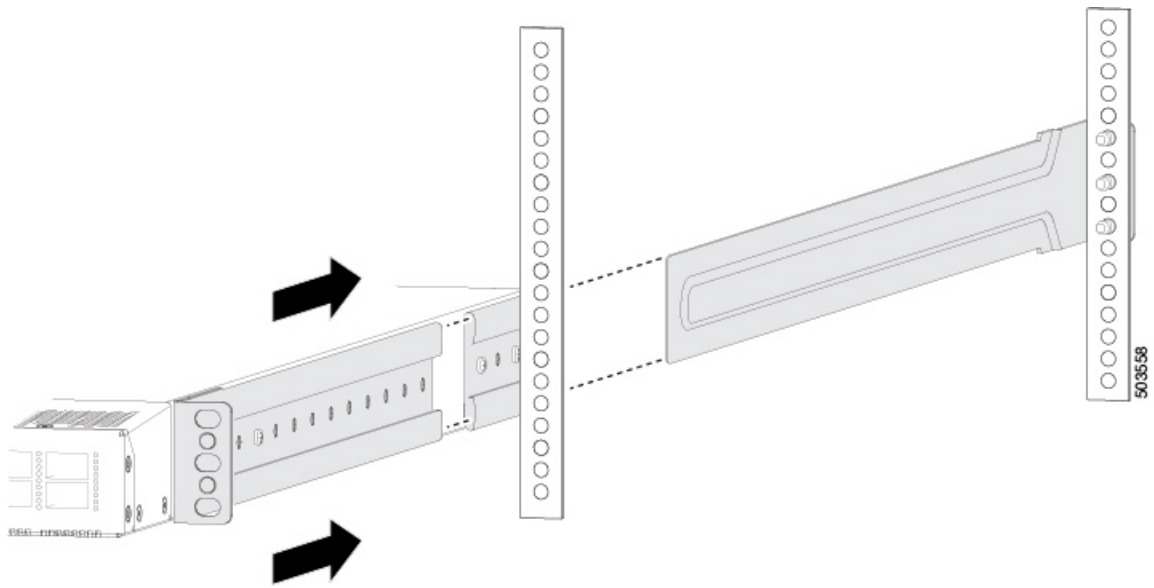
- a) スライダー レールに使用するラックまたはキャビネットの 2 本の支柱を決定します。ラックまたはキャビネットの 4 本の垂直な支柱のうち、2 本の支柱にはシャーシの終端に最も簡単にアクセスできるように取り付けられた前面マウント ブラケットに使用されます。他の 2 本の支柱にはスライダー レールを取り付けます。
- b) スライダー レールをラックの背面に必要なレベルに配置します。ラックのレールのネジ山タイプに応じて、12-24 ネジまたは 10-32 ネジを使用します。レールをラックに取り付けます（図を参照）。12-24 ネジを 30 in-lb (3.39 N.m) の力で締めます。トルクの 10-32 ネジ から 20 in-lb (2.26 N.m) トルクを使用します。



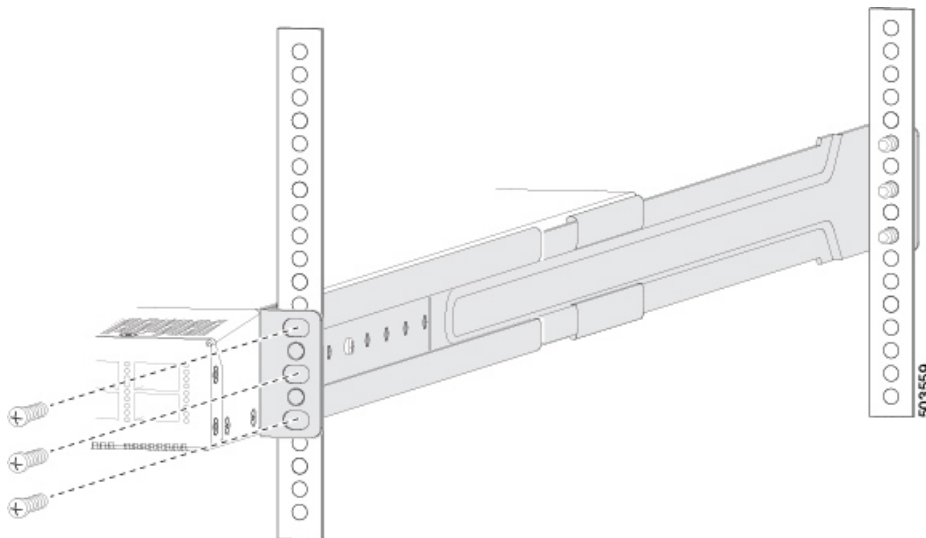
- c) ステップ 3 を繰り返し、ラックの反対側にもスライダー レールを取り付けます。  
スライダー レールが同じ高さにあることを確認します。水準器やメジャーを使用するか、垂直の取り付けレールのネジ穴を慎重に数えます。

**ステップ 4** 次の手順に従って、スイッチをラックに差し込んで取り付けます。

- a) スイッチを両手で持ち、スイッチの 2 つの背面ラックマウント ブラケットを、ラックまたはスライダー レールが取り付けられていないキャビネットの支柱の間に配置します（図を参照）。



- b) ラックに取り付けたスライダ レールにスイッチの両側の2つの背面ラックマウント ガイドを合わせます。ラックマウントガイドをスライダー レールにスライドさせます。前面ラックマウントブラケットが2つのラックまたはキャビネットの2本の支柱に触れるまでスイッチを奥までラックにそっとスライドさせます。
- c) シャーシを水平に持って、ネジ（ラックのタイプに応じて12-24 または 10-32）を垂直ラックの取り付けレールのケージナットまたはネジ穴を通して、それぞれ2つの前面ラックマウントブラケット（合計6本のネジを使用）に差し込みます（4を参照）。



- d) 10-32 ネジは 2.26 Nm (20 in-lb) で締め、12-24 ネジは 3.39 Nm (30 in-lb) で締めます。

**ステップ 5** アース線をシャーシのアース パッドに接続した場合、線のもう一方の端を設置場所のアースに接続します。

# NXK-ACC-KIT2-2RU ラックマウントキットを使用したスイッチの設置

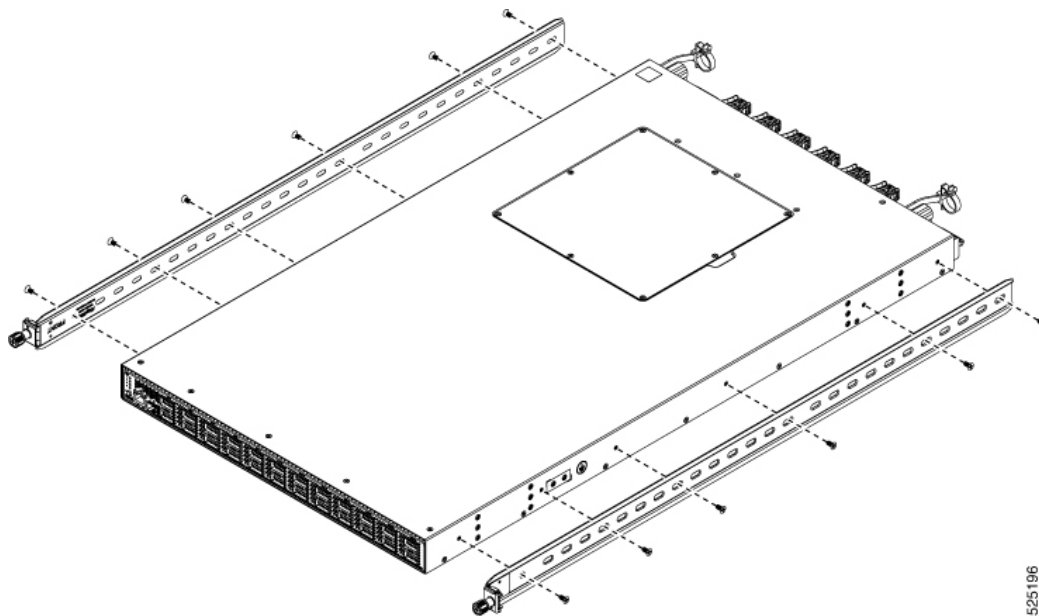
スイッチを取り付けるには、内側レールをシャーシに取り付け、外側レールをラックに取り付け、スイッチを外側レールにスライドさせてから、固定ネジでスイッチをラックに固定します。通常は、ラックの前面が側面になるようにすると簡単に保守を行えます。

## 始める前に

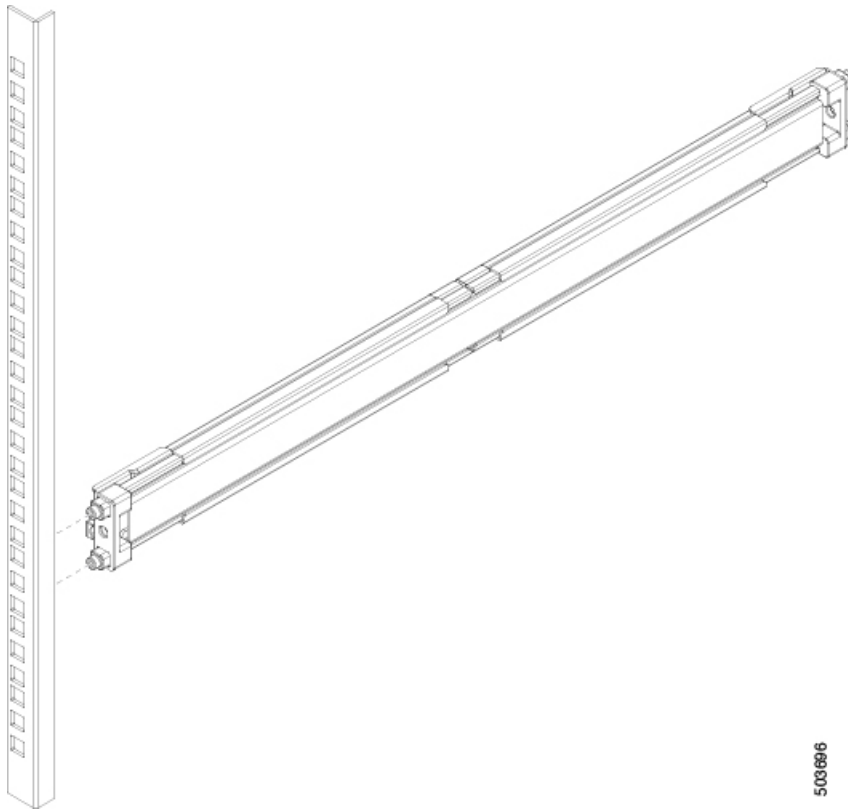
- 届いたスイッチを確認し、注文したすべての部品が揃っているかを確認します。
- スwitchのラックマウントキットに次の部品が含まれていることを確認してください。
  - ラックマウント内側レール (2 本)
  - ラックマウント外側レール (2 本)
  - 皿ネジ (12 本)
- ラックを所定の場所に取り付けて固定します。

## 手順

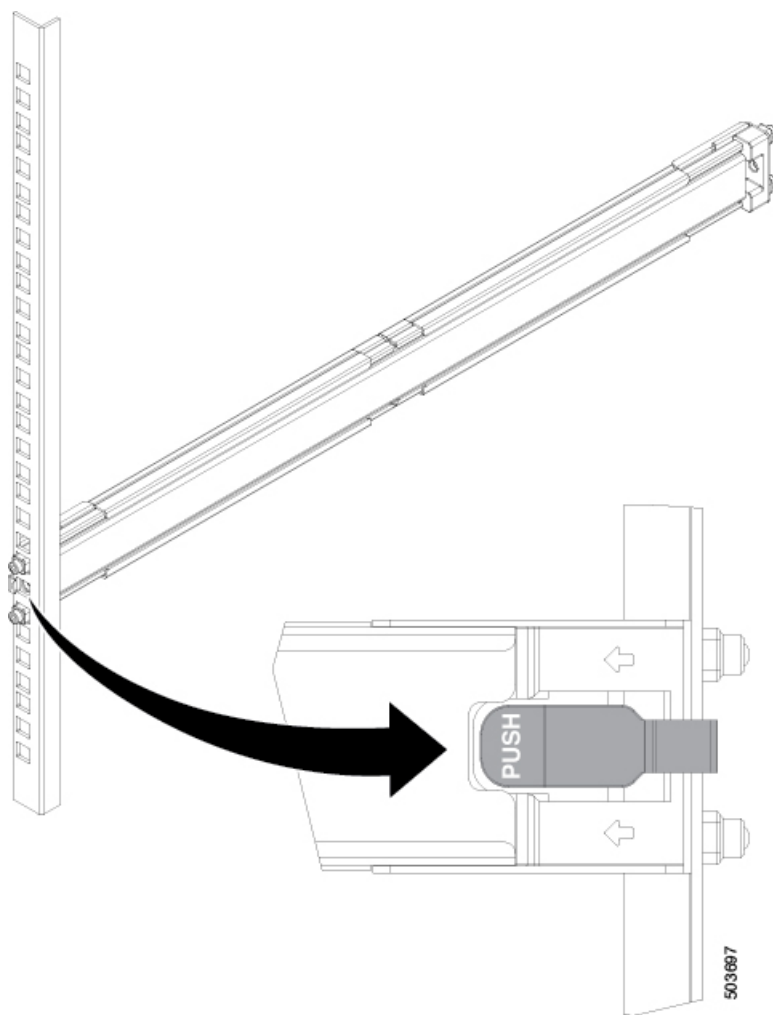
**ステップ1** 次に示すように、皿ネジを使用して2本の内側レールをシャーシの側面に取り付けます。



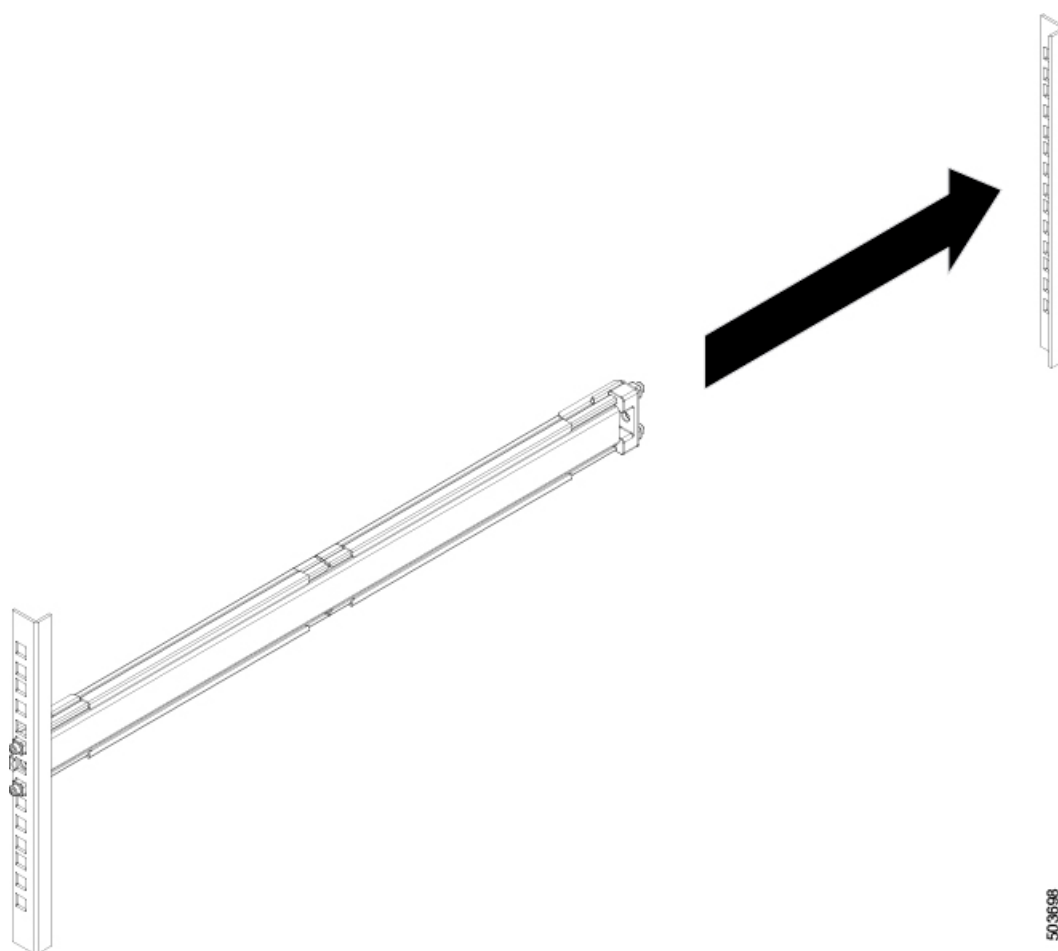
**ステップ2** 次に示すように、レールを支柱の穴に合わせて、ラックの前面支柱に2本の外側レールを取り付けます。



**ステップ3** 次に示すように、ラッチを所定の位置に押し込んで、2本の外側レールをラックの前面支柱に固定します。

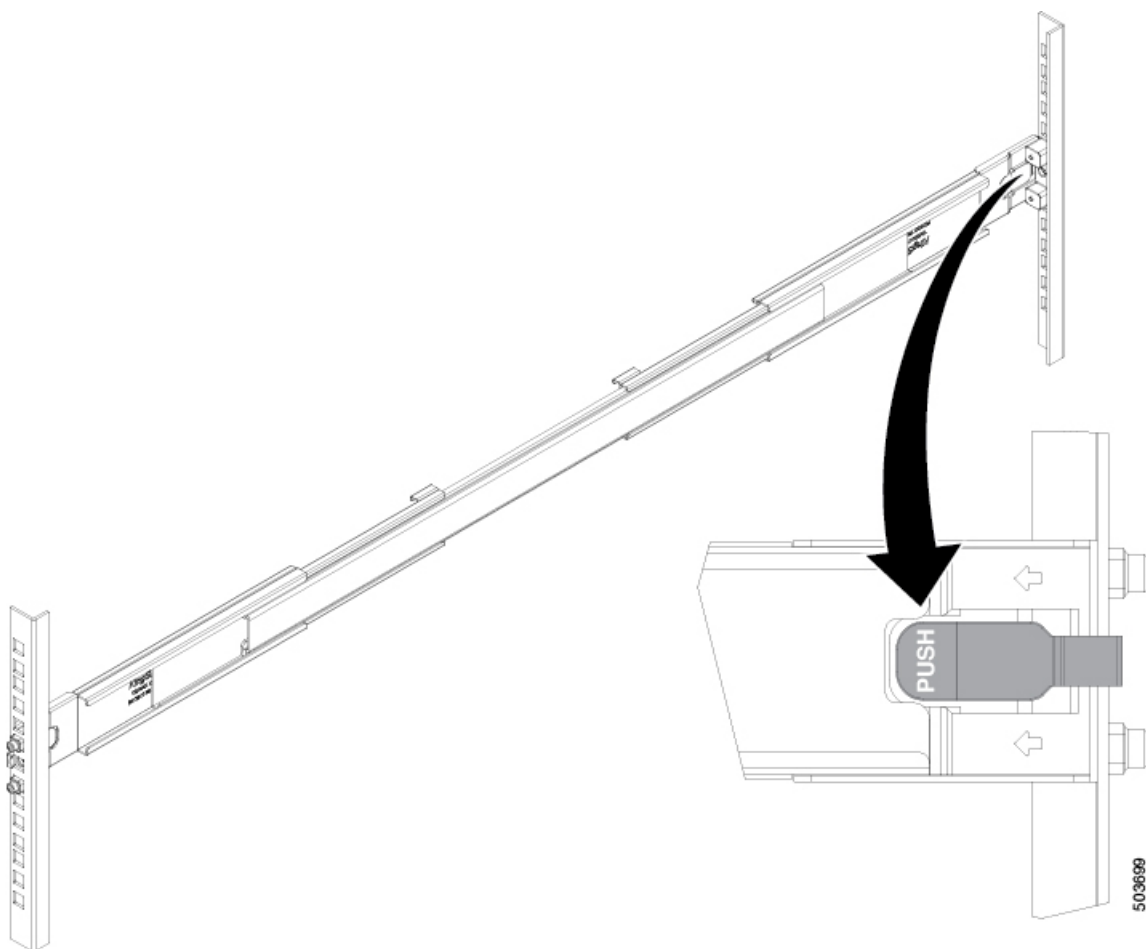


**ステップ 4** 次に示すように、2本の外側レールを所定の位置まで延長して、ラックの背面支柱に取り付けます。

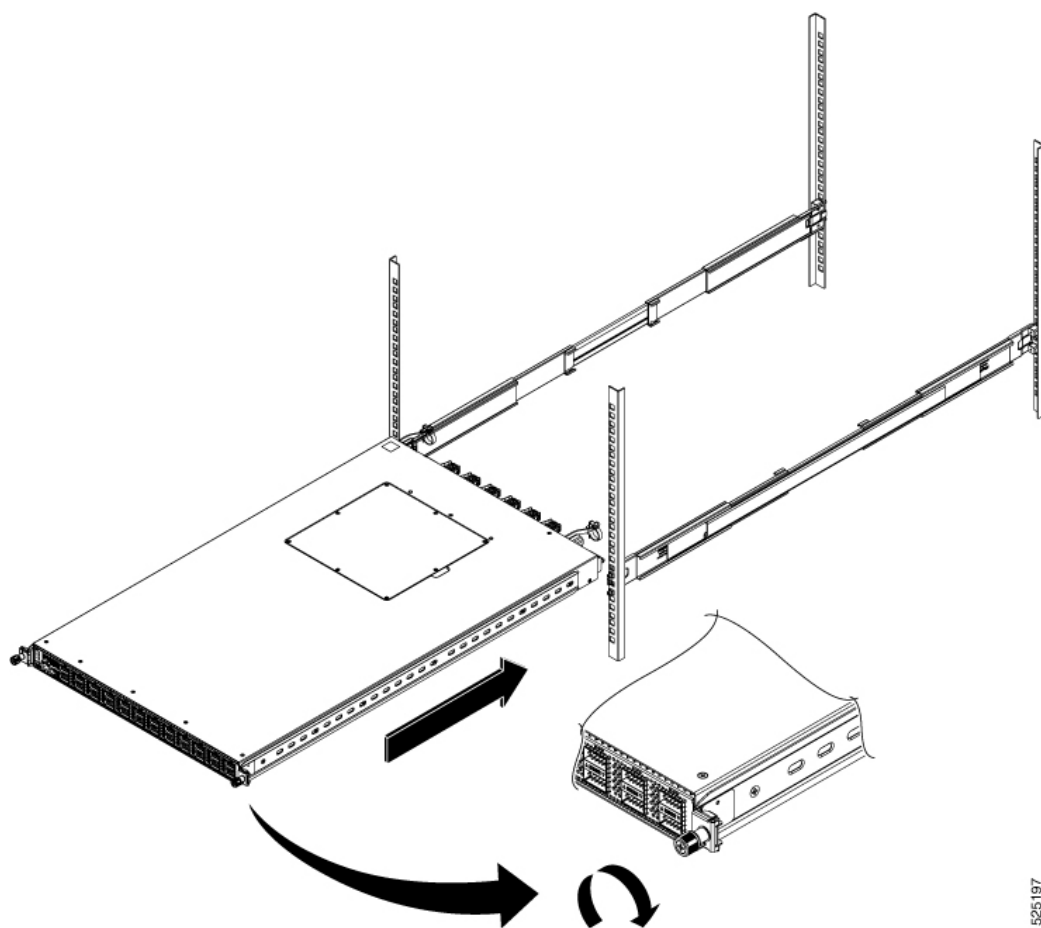


**ステップ 5** 次に示すように、ラッチを所定の位置に押し込んで、2本の外側レールをラックの背面支柱に固定します。



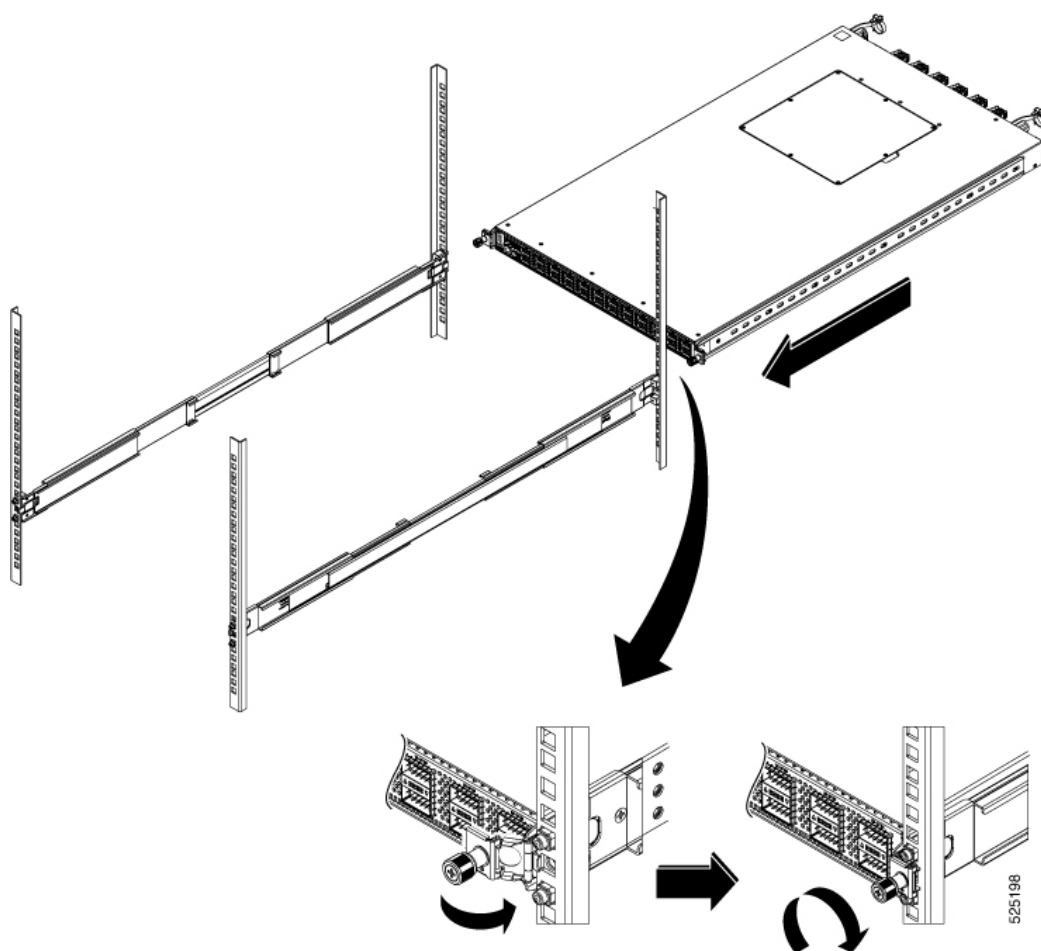


**ステップ 6** ラックの前面から取り付ける場合は、内側レールを外側レールに合わせてシャーシをラックにスライドさせ、前面パネルがラックの前面と揃うまでシャーシを後方にスライドさせます。次に示すように、内側レールの固定ネジをラックに固定します。



525197

**ステップ1** ラックの背面から取り付ける場合は、内側レールを外側レールに合わせ、前面パネルがラックの前面と揃うまでシャーシを前方にスライドさせて、シャーシをラックにスライドさせます。次に示すように、固定ネジをスライドさせてラックに合わせ、内側レールのつまみネジをラックに固定します。



## シャーシのアース接続

スイッチとラックが金属間接続されたアースされたラックにスイッチを適切に取り付けると、スイッチ シャーシは自動的にアースされます。



- (注) 電導経路を必ず本製品のシャーシと製品を搭載するラックまたは筐体の金属面との間に設置するか、またはアース導体に接続するようにしてください。ネジ山を形成するタイプの取り付けネジを使用して塗料または非導電コートを除去し、金属間接点を作ることにより必ず電導経路を確保してください。取り付け金具と筐体またはラックとの接触面の塗料または非導電コートはすべて除去します。表面を清浄にし、取り付け前に腐食防止剤を塗布します。

LVDC 電源を使用する場合、ラックを接地します。AC または HVDC 電源モジュールを使用する場合、AC 電源の電源コードがシャーシのアースになります。補助アースまたはボンディングのために、お客様が用意したアースケーブルをシャーシのアースパッドに取り付けます。

シャーシを接地します。2 支柱ラックを使用する場合には、別途用意したアースケーブルを接続します。ケーブルをシャーシのアースパッドおよび設置場所のアースに接続します。4 支柱ラックを使用する場合には、ラックマウントシステムまたは電源ケーブル（AC または HVDC）を介してシャーシが接地されていることを確認します。



#### 警告 ステートメント 1024：アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



#### 警告 ステートメント 1046：装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

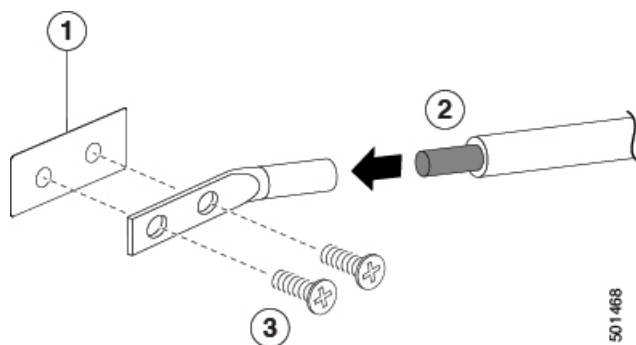
#### 始める前に

シャーシをアースする前に、データセンタービルディングのアースに確実に接続できるようになっていることを確認してください。

#### 手順

**ステップ 1** ワイヤストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ（19 mm）ほど、被膜をはがします。米国で設置する場合は、6-AWG 線をお勧めします。

**ステップ 2** アース線の被覆をはぎとった端をアースラグの開口端に挿入します。圧着工具を使用し、アース線をアースラグに圧着します。図を参照してください。アース線をアースラグから引っ張り、アース線がアースラグにしっかりと接続されていることを確認します（タグテスト）。



1	シャーシのアースパッド	3	2本のM4ネジを使用してアースラグをシャーシに固定します
2	アースケーブル。一方の端から0.75インチ（19 mm）絶縁体をはがされ、アースラグに挿入され、所定の位置に圧着します		

**ステップ3** 2本のM4ネジでシャーシのアースパッドにアースラグを固定します（図1を参照）。1.24～1.69 Nm（11～15 in-lb）のトルクでネジを締めます。

**ステップ4** アース線のもう一方の端を処理し、設置場所のアースに接続します。

## スイッチの起動

スイッチを専用の電源に接続し起動します。 $n+n$ の冗長性が必要な場合は、スイッチの各電源モジュールを異なる電源に接続します。



（注） この機器は、隣接するデバイスが完全に起動して実行されているかどうかに応じて、30分未満で起動するように設計されています。

表 1: 電気定格

AC 電源装置のPID	サポートされるスイッチ	入力電圧	入力電流（最大）	入力周波数	出力電力
NXA-PAC-1100W-P12	Cisco Nexus 9348Y2C6D-SEIU	115 ～ 127 VAC 200 ～ 240 VAC	12A 6A	50 ～ 60 Hz 50 ～ 60 Hz	1100 W

### 始める前に

- スイッチは、ラックまたはキャビネットに取り付けて固定する必要があります。
- スイッチは適切にアースされることが必要です。
- 指定の電源ケーブルを使用してスイッチを電源に接続できるように、ラックは専用の電源の近くに配置する必要があります。
- 専用の電源に接続している電源モジュールそれぞれに指定の電源ケーブルが必要です。



(注) AC 配電ユニットのコンセントの種類によっては、スイッチをコンセントに接続するために、オプションのジャンパ電源コードが必要となる場合があります。

- スイッチはネットワークに接続しません（管理接続またはインターフェイス接続も含まれます）。
- ファンおよび電源モジュールはシャーシ スロットにしっかりと固定されています。

### 手順

**ステップ1** (オプション) AC 電源の場合は、次の手順を実行します。

- ご使用の国または地域に推奨される AC 電源ケーブルを使用して、電源ケーブルの一方の端を AC 電源モジュールに接続します。
- 電源ケーブルのもう一方の端を AC 電源に接続します。

**ステップ2** 次のように AC 電源モジュールを電源に接続します：

- ご使用の国または地域に推奨される AC 電源ケーブルを使用して、電源ケーブルのアプライアンス カプラーを電源モジュールの電源コンセントに接続します。コネクタをコンセントに完全に挿入します。
- 電源ケーブルのもう一方の端を電源に接続します。

**ステップ3** (オプション) HVAC/HVDC 電源モジュールに、次の手順で電源に接続します。

- ご使用の国または地域に推奨される高電圧電源ケーブルを使用して、電源ケーブルの Anderson Power Saf-D-Grid コネクタを電源モジュールの電源コンセントに接続します。カチッと音がするまで、コネクタをコンセントに完全に挿入します。
- 電源コードのもう一方の端を電源に接続します。
  - HVAC 電源に接続する場合は、HVAC 電源のコンセントにプラグを挿入します。
  - HVDC 電源に接続する場合は、次の手順を実行します。
    - 電源端末の回路ブレーカーの電源がオフになっていることを確認します。
    - 電源モジュールの各端子ポストからナットを外します。
    - 電源ケーブルのアース線の端子リングを電源のアース端子に置き、端子ナットで固定します。

4. 電源ケーブルのマイナス線の端子リングを電源のマイナス端子に置き、端子ナットで固定します。
5. 電源ケーブルのプラス線の端子リングを電源のプラス端子に置き、端子ナットで固定します。
6. 電源端子用の保護カバーがある場合は、端子にかぶせて締めます。
7. 電源の回路ブレーカーで電源を入れます。

**ステップ 4** (オプション) LVDC 電源の場合は、次の手順を実行します。

- a) 電源の回路ブレーカーをオフにします。
- b) ラグを使用しない LVDC 電源を使用する場合は、付属のワイヤリングハーネスを電源に接続します。または、ユーザーが用意した導線を LV DC 電源に接続します。
- c) ラグを使用しない LVDC 電源を使用する場合は、付属のワイヤリングハーネスに取り付けられたプラグを電源に接続します。または、ユーザーが用意した導線のラグを電源に取り付けます。
- d) 電源端子用の保護カバーがある場合は、端子にかぶせて締めます。
- e) DC 電源の回路ブレーカーで電源を入れます。

**ステップ 5** 電源の LED が点灯して緑色になっていることを確認します。

**ステップ 6** ファンの動作音を確認します。電源モジュールに電力供給すると、ファンが動作を開始します。

**ステップ 7** スイッチが起動したら、次の LED が点灯していることを確認します。

- ファンモジュールのステータス (STA または STS) LED がグリーンになっている。  
ファンモジュールのステータス LED がグリーンでない場合は、ファンモジュールを取り付け直します。
- 初期化後、スイッチシャーシのステータス (STA または STS のラベル) LED がグリーンになっている。

**ステップ 8** システムソフトウェアが起動し、スイッチが初期化され、エラーメッセージが生成されていないことを確認します。

スイッチの初回アクセス時は、基本的な設定ができるように、セットアップユーティリティが自動的に起動します。スイッチの設定手順、およびモジュール接続の確認手順については、該当する [Cisco Nexus 9000 シリーズ 構成ガイド](#) を参照してください。





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。